

八事山文庫

-3007号-

特集

三百回御遠忌に際して
七月盆のご案内 p.2
盆会特集 p.4~5
盆会特集 p.9

八事山・歳時記

興正寺檀信徒の皆様へ

いつも興正寺の為に高配に賜り厚くお礼申し上げます。
長い裁判が続いてまいりましたが、これ以上檀信徒の皆様にご迷惑をかけることは本意ではないと言う前住職梅村正昭師のご英断により、裁判が取り下げられ、正昭師、昌寛師、小柴氏の退去が決定し、本日私が入山する運びとなりました。この間、マスコミ等によりおもしろおかしく取り上げられ、ご心配をおかけし、不愉快な思いをお持ちになられたであろう事をお詫び申し上げます。

急なことであり、今後の事についてはまだ充分詰め切っていない点も多いのですが、ともかくも皆様に入山のご報告とさせていただきます。
今後とも興正寺の護持運営にあたり、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成三十年五月二十一日



八事山 興正寺
特任住職 添田隆昭

花まつり

5月22日。気持ちよく晴れわたった空の下、多くの方が西山本堂に参集されました。その誕生に世界が歓喜し、天から甘露の雨がふりそそいだとされるお釈迦さまの誕生日。その尊い日を惜さずと祝す「花まつり」が厳修され、ルンビニの花崗のように飾られた花御堂の中の誕生仏に甘茶をかけてお参りして仏縁を深めていただきました。
法会終了後は、甘茶という薬草を煮出して作った甘茶とお釈迦さまとの仏縁を花という形で持ち帰りいただく供花のおさがりを皆さまにお配りいたしました。
(川村)



夏安居(開白)

去る5月30日、夏安居開白のお勤めが西山本堂にて厳修されました。

その昔インドでは、毎年雨期にあたる旧暦4月16日から7月15日の3ヶ月間は、生き物に対する無用の殺生を避けるために、托鉢や布施行などの遊行をせず、1ヶ所に集まり(その集まった場所が寺の始まりともいわれています)修行しました。

日本には雨期は無いのですが、その風習だけが伝わり、こゝ八事山興正寺に於いても夏安居期間中は、西山本堂にて「梵網經」という戒律のお経をお唱えし、懺悔と戒律の大切さを改めて見つめなおします。

なお夏安居結願は8月3日となります。
(海良)

決して負けない訓戒を授かる 不動堂大祭

6月5日、13日と不動護摩堂において不動堂大祭(不動・屈・不退・転・護摩)が行われ、隣接する阿弥陀堂では東海三十六不動尊霊場お砂踏みが開催されました。

祈禱受者には自身を律する強い心と負けない気持ちを養う為の訓戒として、僧侶より漢字・文字の「自戒念字」が授与されました。この大祭の特色である僧侶4名による熱帯の祈禱「熱帯」が受けられるとの評判から、両日ともに押すな押すなの大盛況であり、不動明王のもとで各々の諸願成就を祈願された後は、更なる不動の力添えをという思いから阿弥陀堂でのお砂踏みに入壇をされていました。
(永明)



行事のご案内

■7月27日(金) 13時より 西山本堂にて
青葉まつり

旧暦6月15日は弘法大師のお誕生日。緑のあざやかな季節のため青葉まつり。とよまれます。私たちをいつも見守ってくださっているお大師さまの生誕をお祝いし、そのご功徳を講する法会です。ぜひご参拝ください。特別朱印・参拝者次第授与もいたします。



■8月5日(日) 15時より 西山本堂にて
施餓鬼法会

施餓鬼は、餓鬼や我々が生きる為殺生してしまった物達と共に、亡くなった先祖や家族の供養をする法会です。お盆には亡くなった先祖や家族の供養を行なうことを務めることでも自分にも救いがあることとされている法会です。
ご供養料 一霊 5,000円から(塔婆付)
先祖代々 10,000円から(塔婆付)

■8月10日(金)~16日(木)
盆合同供養会

私たちは、ご先祖さま、ご父母や両親そして自身から子孫へと大きな命の流れの中に生かされています。この命の営みに感謝し、その気持ちを受け継いでいくことが、我々の役目であり、今を生きている私たち家族の勤めでもあります。
夏も八事山興正寺の「盆合同供養会」にご参加いただき、先祖供養をご家族揃ってお勤めください。
※詳細は後日配布予定のご案内リーフレットをご覧ください。

■8月12日(日)
初盆合同供養会

古くからお盆にはご先祖さまが家に帰ってくるとされ、様々なお供え物をして迎え入れてきました。中でも「初盆」は忌明け(四十九日)が過ぎ、初めてのお盆を迎えられる故人さまが家に帰られる大切なご供養の機会です。興正寺では、皆さまが故人さまをお迎えいただく「初盆合同供養会」を執り行います。どうぞご家族揃ってご参加ください。

行事中止のお知らせ

誠に残念ですが本年、左記の行事は当山都合により中止となります。

- 葵壇法会
- お寺でお泊り会
- 盆踊り
- 月満祈禱会

楽しみにお持ちいただいた皆さまには大変申し訳ございません。来年度以降の開催につきましては、現時点では未定となっておりますので、決まりましたら「八事山文庫」等でご案内させていただきます。

興正寺開山和尚Ⅲ天瑞圓照三百回御遠忌

興正寺開山天瑞圓照和尚に寄せて

天瑞圓照和尚の足跡をたどる(7)

犬塚 正圭

徳川光友公は元禄三年(一六九〇年)に大病を患われました。その時、当山初代住職の天瑞圓照大和尚に、平癒祈願のご祈祷を勤めてもらいそれを克服されました。

「ご祈祷」という言葉を耳にされたことがあると思います。これは心願をこめて神仏に祈り加護を求める事で、真言宗では、弘法大師が伝えられた祈祷法で「三密加持」といいます。手に印を結び、口に真言を誦じ、意はその三昧に入つて宇宙の神秘実在に融合し、それを通しての深い祈りとされるものです。他の宗派教派と異なり特に加持という言葉が、必ず「加持祈祷」と言うのが立前です。またそれを修する場合、祈祷するとは言わず「お加持する」と言い、これが他の祈りと異なる点です。

加持とは、梵語の「阿地瑟麗那」の訳語で、「加」は加被とか増加の意で、

能動的に加わつてゆくことであり、

「持」は受持任持で受動的にそれを持して行くことを意味します。ラジオの放送が受信機のダイヤルが合えば千里の隔たりも目の前にあるのと変わらないように、加と持の両方の働きが一致すれば、それを感応と言います。即ち持する働きはそのまま感応することであり、それに加わつてくるから応じたことになる。加持する作用は結果的には感応となつて表れるから、これを昔から加持感応と言います。

天瑞圓照大和尚が「加」で光友公が「持」とした場合、お互いの働きが一致したので神仏に届き、大病を克服したと言えるのです。皆さまも、ご祈祷をお受けになれる際は、僧侶を「加」自身を「持」と思われます事をご案内申し上げます。

はじめに

平成三〇年は、興正寺開山天瑞圓照和尚の三百回忌です。各地を歴訪する中で真言律宗の寺院建立を志し、縁あつてこの八事の地に「八事山遍照院興正寺」を創建した和尚は、いかなる人物であつたのか。寺に伝わる文物からそれを紐解き、一年にわたりご紹介いたします。また、今年の興正寺カレンダーでも同内容を掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

カレンダー連動企画(7)

【第七回】尾張藩主を後ろ盾として(平成30年7月カレンダーより)

興正寺は、開山天瑞圓照和尚が尾張徳川家二代藩主光友公の帰依を受け、元禄元年(一六八八年)に創建されました。そして尾張藩の庇護のもと寺は拡大して行くのですが、そこには藩主からの絶大な信頼がありました。それを強固にしたのが、元禄三年(一六九〇年)に光友公が大病を患つた折に天瑞和尚が行つた病氣平癒の祈りでした。

折しも光友公にとっては大切な時期で、無事快癒したことでも中納言から権大納言に転任し、従二位に昇叙することができました。その後尾張藩からは寺の表裏門二か所に境内での狼藉行為を禁じる四本の制札を建立いただきました。これにより暗黙の了解として、境内での狼藉行為は尾張藩の意に背くことであることが明示され、安全を保障する大きな盾となつたのです。

さて、興正寺隆盛期の元禄の頃(一六八八―一七〇四)の日本はどのような世だったのでしょうか。江戸幕府は五代将軍綱吉公の代、三代家光公までに整えられた幕藩体制が定着し、まさに最盛期となつていました。政治も武断政治から文治政治へと移行し、経済面でも新田開発が進められ、農業技術も発展したことで生産力が増大、商品の流通も活発になり、商人や町人が力をつけていきました。その一方で、その勢いに押され諸大名の財政は商いに左右されるようになり、厳しいものとなつていきました。

後に興正寺も尾張藩からの援助に頼ることが難しくなり、自力での運営を模索することになるその兆しが見え始めたのがこの元禄年間とも言えます。

(川村)



寛(病氣平癒祈願御付けられしこと)

新 杜のコラム

「蓮のみおしえ」

7月を代表する花と言えは蓮の花である。蓮は7月の誕生花であり、夏の季語でもある。蓮の花の原産はインド。その為、古くから仏教とは深い係わりを持つている。寺院でお参りされている仏さまの多くの台座には蓮の花が用いられ、極楽浄土の世界には必ず蓮の花が画かれている。それだけではなく、蓮の成長する姿、そのまが仏の教えとなる。泥の中にあっても花を咲かせるときには、泥に染まることなく綺麗な花を咲かせる。その姿は、煩惱という泥中にあっても、煩惱に染まることなく悟りの花を開かせる。まるで悟りを求め修行する菩薩の姿そのものである。蓮の白やピンクの花々が幾重にも重なり咲き誇る様は、まさに極楽の世界。汚れを離れた境地、何とも言い表せない清らかな様である。

さて、日本で有名な蓮と言えは「大賀ハス」である。大賀ハスは、昭和26年、蓮の研究で有名な大賀一郎博士により、千葉県検見川遺跡の地下7mの泥炭層から3粒の蓮の種子が発見され、そのうちの1粒の種子の開花に

成功した。種子が発見された地層を調べてみると、驚くことに二千年前の種子であることがわかり、当時の全世界に衝撃を与えた。その後、大賀ハスは全国各地に分根され、現在では大賀ハスの子孫を多くの場所で見ることが出来る。二千年の眠りから目覚める。なんて聞くとお伽噺のようだが実際に目覚めたのだ。蓮の種子の生命力は、植物の中で最も長寿であると言われていて、種子の生命力もさることながら、その種子が発見され、花を開花させるまでの道程もまた奇跡の導きとしが言いようがない。長きに渡り眠り続けた蓮は、長き時を経て目覚めても、その美しさは変わらない。二千年前の蓮が伝えるメッセージ、大切なものは時を経ても何一つ変わることがない。我々、人もまた蓮の花の清らかさのように、変わることのない心の清らかさを保ちたいものだ。



(海良)

興正寺さんぽへ出かけよう!

興正寺の境内をご案内の
八事山女庫を持って、興正寺を歩いてみませんか?
いつもと違った発見があるかもしれません!



興正寺さんぽ④ 西山本堂～観音堂へ

興正寺の西山本堂(図⑦)は、正面向かって左側から中へ入ることができます。たくさんの仏さまの中で、ひときわきららしく、皆さまの参拝も多いのが「大慈求明王」です。名前が難しいですが、「ぼっくりさん」で通っています。ぼっくり往生だけでなく、人の一生全部を見守ってくださる、実にありがたい仏さまです。お若い方も、ぜひ無病息災をお願いしましょう。実は興正寺、呼び名がいっぱいありまして、ぼっくり寺、卯年の寺、不動参りの寺、名古屋七福神の寺、もちろん弘法さまのお寺…。

さてさて、本堂で仏さま方にご挨拶をしたら、ちょっと戻って「結びの樹」から観音堂(図⑧)へ向かいましょうか。お寺で一番急な階段を上って秘仏正観世音菩薩さまのいらっしゃる西山のてっぺんへ、参拝前に鐘楼堂の大きな鐘をついてみましょう。丁寧に一回ついて、合掌します。その後観音堂へ上がりますが、今度は鰐口がありますので、これも鳴らします。結構コツがいるかも。これで観音さまがあなたの方をご覧になっていますので、心を込めてお参りしましょう。上りはしんどい

石段ですが、下りはちょっと余裕が出てくるかも。石段の左右には観音さまの石仏がいっぱいです。階段を降りきったところに西山門と普賢殿(図⑨)がありまして、お葬式などがなければぜひ、入ってみたい所です。

(井上)



お供えについて

—— お盆の風習を「いま」に伝える ——

私たちがご先祖様へ伝えたいことは何でしょうか？
寂しい気持ち？ お願い事？ それとも感謝でしょうか。
その気持ちの表れが「お供え」です。



- 私たちは参拝の時、ろうそくや線香を供えます。また、お花やお菓子を用意する場合があります。
お賽銭やお布施も、大きな意味でお供えと言えるでしょう。



仏事、行事でのお供え

- たとえば、新年には鏡餅を、花まつりには甘茶をご用意したりしますね。回忌の法要ではお菓子や果物、お餅を供える場合が多いです。



富山からの手配も
可能です。
ご相談ください。

- 興正寺ではお花やろうそく、線香はいつでもご用意しております。季節の行事(お盆やお彼岸など)では、皆様に代わり「お供え」をいたします。

皆様からの心として、法要の際にお持ちになったお供えは受付にてお預かりし、仏前へお供えさせていただきます。

お盆のお供え

- ご先祖様がお家に帰ってこられると言われていたお盆。お迎えする私たちは精一杯のおもてなしをいたしましょう。ナスやキュウリを使ってお飾りを作り、お部屋となる精霊棚を設けたりします。仏さまの智慧の灯火としての、ほおづきを入れたお花を飾ったりします。



亡き人のお好きな物をお供えしても良いのです。

お供え 御霊供膳



- 古くからお盆では、お迎えした御霊に、私達と同様のお食事やおやつ、お茶をお供えする習慣があります。このご先祖様へ、煮炊きしたお料理をもてなしの心としてお供えするのが御霊供膳です。

お供え 奉納御霊供膳 当日まで受付可

〈一口〉1,000円から

お名前をあげさせていただきます。
同封の盆合同供養会申込用紙をご利用になるか、窓口にてお申込みください。

でも…

家に仏壇はないし…
毎日お膳を作ったり
できないし…
お盆も留守にするし…



興正寺では
皆様に代わって「御霊供膳」をお供えし、
ご先祖様に精一杯の供養の心をお伝えしております。

仏事や供養の悩みごと、お墓や仏壇のことで困ったときは、ぜひお気軽に興正寺にご相談ください。

予約
優先

命の営みに感謝する 私たち家族の務めとして

平成30年 八事山興正寺

七月盆合同供養会

仏教本来の由緒正しきご供養をご先祖様へ

製造業を中心にものづくりで世界をリードする愛知県の企業。これら企業群が、名古屋市を中心に県内各所に点在し、そうした企業の方たちとご家族が、転勤等の形で、ここ名古屋に根付いておられます。

そこで私共興正寺では、県外出身の方に向けて、名古屋東海圏の「お盆は八月に」という風習に捉われず、皆様からの「七月にもお盆を」とのご要望にお応えし、5年前から「七月盆」のお勤めを行っております。我が家へと帰ってくるご先祖様をお迎えし、そして送りする大切な盆供養の習慣です。県外出身の方も「新たな菩提寺」として、ぜひ興正寺にお参りください。

もちろん、八月盆期間中が忙しい県内地元の方も、七月盆で先祖供養をお務めになることをお奨めいたします。



合同供養会のご案内

[期 間] 7月13日(金)~15日(日)

[場 所] 西山本堂

[供養料] 一霊 5,000円 (「盆供養之證牒」授与)

	13日(金)	14日(土)	15日(日)
8:00		○	○
11:00		○	○
16:00	○	○	○

※所要時間 30~40分程度
※各日合同供養会の当日までお申込みが可能です。
同時の申込用紙に記入のうえ、来寺にてお申込みください。

迎え法会 ... 13日(金) 16:00~

送り法会 ... 15日(日) 17:00~20:00 ※右記参照
(精霊送り)

我が家へと帰ってくるご先祖様をお迎えし、そして送りする大切なお勤めです。

盆飾りのご供養は送り法会(精霊送り)にて承ります。(供養料1,000円)

圓照堂からのお知らせ

七月盆期間中の御遺骨・御位牌出しは、合同供養会に申し込まれた方に限り予約制で承ります。詳しくは、お問い合わせのうえ當山指定の参拝日時よりご予約ください。

精霊送りのご案内

[日 時] 7月15日(日)

17:00~20:00

[受 付] 興正寺正面
参道ゲート前
特設テント

[供養料] 一霊 1,000円
(蓮ろうそく授与)

ご希望の方には、
蓮ろうそくのみ(500円)授与いたします。
盆飾りをお持ちでない方も、
一緒に御霊をお送りください。

精霊送りとは、お盆に帰って来られた御霊を、お供物と一緒にあの世へお送りする盆供養の風習です。盆の期間お供えされた盆飾りやお供え類をお持ちください。送り火として蓮ろうそくを授与します。

申込方法

振込、または来寺(納経所)にて

緑色の申込書をお使いください

振込の場合

7月5日(木) 締切
※現金の振込はご遠慮ください。
(振替がございません)

来寺の場合

当日まで

1 申込書・振込用紙・返信用封筒を記入する。
申込書は返信用封筒に入れる。



※この部分は切り取ってご自分の控えとしてお持ちください。

2 お近くの郵便局で
・振込
・申込書の発送手続きをする。



3 手続き完了

1 申込書に記入する。



2 納経所にて次の手続きを行う。
・申込書持参
・申込金額支払



3 手続き完了

※ご都合が合わず、参列できない方は「遙拝供養」にてお申込みください。 ※期間中は混雑が予想される為、なるべく公共交通機関をご利用ください。

ようはい 遙拝供養とは?



「遙か遠く離れた場所からでもご先祖様を拝む」の言葉通り、興正寺にて厳修される各合同供養会や慰霊法会に、ご都合が合わず参加できない皆様のためにご用意させていただいた、興正寺ならではのご供養のスタイルです。お申込みさえ済ませいただければ、あとは興正寺僧侶が皆様に代わって、真心を込めて読経を厳修し、仏さまやご先祖様のもとへ、皆様の善行をお届けいたします。「遙拝」をされる皆様はどうぞご自宅やお仕事先などから、ご先祖様に心を込めて手をお合わせください。そのお気持ちがご供養の大切な心です。

興正寺での納骨の有無に関わらず、どなたでもご供養いただけます。



八月盆でのご供養を希望の方は、追って興正寺からご案内を送りする「八月盆合同供養会・施餓鬼法会」等のご案内をご確認ください。

興正寺や地域と一緒に、
子どもたちを育ていける
保育園でありたい。

社会福祉法人 聖英会
オリーブの実保育園
みよし ひろえ
園長 三好 永恵 さん

Profile

八事地域の待機児童問題を解消しようと4年前に開園されたオリーブの実保育園。20年以上保育士を務めてきた三好さんは、2年前から園長として子どもたちの成長をサポートしている。



人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫
地域版

興正寺へお散歩にやってくる子どもたち。元気な子どもたちの声が、境内を段々明るくしてくる。オリーブの実保育園の園児達。今回は、そのオリーブの実保育園の園長である三好先生にお話を伺った。



「四年前にオリーブの実保育園が開園された時に、子どもたちが遊ぶ場所。として興正寺がすぐに候補に上がりました。都会なのに緑がいっぱいで、子どもたちが探検できるような場所だったので、ぜひ園児達を遊ばせて欲しい」とお願いしたのが、興正寺との縁でした。」と、三好先生。実は、三好先生は八事のご出身で、小さい頃から興正寺の存在をご存知で、ご両親と一緒に緑日に行ったこともあるのだそう。「大人になつてからはなかなか行けなかったのですが、まさか、こんなふうにまた興正寺と関わることは予想していませんでした。きつと、これもご縁なんだろうね」と話してくれました。

「お散歩で興正寺を訪れた園児達は、意味は分からないながらも手を合わせてお参りしていますね。境内に一歩足を踏み入れると本当にたくさんの自然に触れることができるので、自然を通じて四季の移り変わりなどを園児達は実際に体験することができています。また、文化財防火デーには防火訓練の見学にお誘いしたくなく、様々な経験を興正寺でさせていたでいて、本当にありがたいことだと感じています。」と語った。さらに「興正寺には年配の参拝者の方がたくさんいらして、園児達に声を掛けてくださるんです。核

家族化が進み、身内のおじいさんやおばあさんとも接する機会が少なくなっているなか、興正寺で年配の方との交流を図ることができ、人見知りなく元気に挨拶できる子どもたちに育っています。」とのこと。確かに、取材に訪れたこの日も、散歩に出掛けようとしていた園児達が、とても大きな声で「こんにちは」と挨拶してくれました。

さすがIT化社会の潮流で、園児達の様子は連絡用のアプリを通じて保護者の方に写真付きで毎日報告されており、興正寺でのお散歩の様子も報告されている。保護者の中には「保育園からの連絡で興正寺のことを知って、お休みの日に子どもと一緒に興正寺のイベントに行っていました。」という方もいらしたそう。

「保育園は幼稚園に比べ、あまり教育面は重視されていないという印象があるかもしれませんが、当園では、小学校からの英語授業に戸惑わないよう英語のクラスを設けたり、運動の専門コーチによる基礎的な運動レッスンをを行うなど、園児達の学習ペースを楽しく教育に力を入れており、様々な経験を重ねる中で、子どもたちが自分で考え、自分で決断できるチカラを育てたいと考えています。そして、待機児童問題の緩和による地域貢献も引き続き行っています。また四年目のオリーブの実保育園ですが、ゆくゆくは地域に根ざした保育園として、興正寺や八事地域の皆さんと一緒に、子どもたちを育ていける場所になりたいですね。」と、三好先生。優しい笑顔の中に、子どもたちの未来を大切に考える強い思いを感じた。



八事の住宅地に建つ都市型のオリーブの実保育園。



絵画講座による絵の指導や、植物の育成、砂遊びなど、情操教育環境も充実。



子どもたちがノビノビと遊ぶことができる、明るくてキレイな園内。

お坊さんダイレクト・出張版

仙事のお悩み相談室

仙事の疑問に僧侶がホンネで答える「お坊さんダイレクト」の出張版！皆様のひと言お悩み相談に、僧侶・興正寺の僧侶が答えます。

Q お寺は何のためにあるの？
どうしてできたの？

A

お寺は、古い時代には国や個人の幸せを祈るために建てられました。また、僧侶に至るための習熟を学んだり、慈悲の心で福祉活動をしたり、もちろん修行に打ち込むために建てられました。

僧侶が御供に奉仕するようになるのは鎌倉時代以降ですが、その頃からお寺は追善の法要や墓の守りを担うようになり、平安時代の新撰専門の僧侶たちはむしろ、死の穢れを忌み嫌っていました。

また新しい宗派が生まれて大勢の人が教の教えを学ぶ説教所となり、若い僧侶が修行し学問をする道場になります。子どもたちが読み書きを覚える寺子屋も担いました。

第二次大戦後の戦地開放や出陣を失った多くの寺は、難民家となり法事に従事するか、寺子屋の流れて幼稚園を経営することが多くなりました。



興正寺

お気軽に「仙事のお悩み相談室」をお寄せください。仙僧さまにお答えいたします。お電話以外には掲載いたしません。

【必要事項(お電話以外に記入ください)】
・ひと言相談 (40文字まで)
・お名前
・年齢
・性別
・ご住所
・お電話番号

【お電話の宛先】
〒466-1082
愛知県名古屋市中区八事山本町7-8
八事山 興正寺 普賢殿内
八事山文庫「仙事のお悩み相談室」係



ひらみちゃん

「もっと地元を好きになってほしい」という想いから生まれた
八事山興正寺の提供のラジオ番組です

笑顔とシアワセをおすそわけ

黒江美咲のふらっと街巡り

毎週木曜
11:53~12:00

パーソナリティ 黒江美咲

知ってるお店が登場するかも?! @FM80.7

5月24日
放送

御菓子山中

名古屋市昭和区横濱通3-14 横濱アイリス1F TEL:052-842-8896

【営業時間】10:00~18:00

【定休日】火曜、第3水曜

「おいしい味は作り手の心がこもったものにこそある」と、手間暇惜しまず作られる和菓子。一押し「まっちゃちこ」は、まずはそのまま、次にオリブオイルをかけて。豊かな香りと味の広がりに驚きます!! 作り置きはしないので、事前に電話でご確認ください。

6月7日
放送

井手口楽器店

名古屋市昭和区広路通7-12 TEL:052-836-5255

【営業時間】10:00~18:00

【定休日】月曜、年末年始、お盆

戦前から続く和楽器の専門店。店内には三味線や箏(こと)などが並んでいます。販売だけでなく、修理もお任せできるほか、教室や音合わせのホールもあります。オリンピックを前に和楽器演奏が中学校の授業に取り入れられるなど、人気が高まってきそう!!

6月14日
放送

バイクストア 輪YA(りんや)

名古屋市昭和区川原通8-37-1 TEL:052-761-8810

【営業時間】電話にてお問合せください

【定休日】なし

ママチャリからロードバイク、クロスバイクに買い替える方必見!! 自転車はサドル一つとっても、体型や走り方、走る場所によりおススメが違います。ビギナーが気付かないことも話の中から聞き取り、ピッタリの一台を選んでもらえます。

6月21日
放送

パピリカ

名古屋市昭和区花見通1-19 TEL:070-5252-4171

【営業時間】11:00~19:00

【定休日】木曜、金曜、毎月28日

名物「バナナ焼き」は、たい焼きのようにカスタードや白あんを生地で包み焼いたお菓子。米粉の入った生地はもちもちしており、やさしい味は広い世代に人気です。外をカリッと揚げた「バナナ揚げ」も楽しめます。

radiko.jp

今いるエリアで放送しているラジオの番組を、PC/コンやスマートフォンで聴くことができます。サービスradiko(ラジコ)にて、過去1週間分の放送を聴くことができます。こちらのアドレスよりアクセスして下さい。 <http://radiko.jp/>

こちらからもお聞きいただけます <http://fma.co.jp/f/prg/machimeguri/>

「じもポン(地元応援クーポン)」が使える加盟店さんをご紹介します!

地元応援クーポン

じもポン

を使ってみよう!

第4回



スモークサーモンのタルタルサンドウィッチ

八事駅1番出口徒歩1分の、アメリカ・シアトルを彷彿とさせるおしゃれなカフェ。

ランチタイムは名物のホットサンド・シアトルサンドウィッチやパスタがドリンク付きで980円で食べられます。

こだわりのワインやビールが一日中飲めることも人気。

シアトルサンドウィッチカフェ

名古屋市昭和区広路町字北石坂102番148号パーク八事1F

TEL:052-838-8463

営業時間/11:30~23:30(ランチタイム11:30~14:00)

定休日:不定休

お知らせ 掲示板

7月 季節のそば

サラダ蕎麦

5・13・21日限定



甘味・食事処 八琴庵



どったん
寝たそばの食感と、さっぱりとした涼しげな夏らしいそばの味をお楽しみください。

6月定休日: 6/12(火)・7月定休日: 7/10(火)

営業時間: 10:00~16:00 (L.O.15:30)

定休日: 毎月5日を過ぎた火曜日

八事のお山の

昨日

今日

あした



八事の蝶がいっぱい!

夏の日差しをお山の緑が遮って、濃い影を道に落とす時期です。いろいろな生き物たちで、お山は賑やかな季節を迎えました。「八事の蝶」という郷土玩具があります。紙に色とりどりの線で模様を入れ、竹籤を使った素朴な蝶々です。モデルの蝶々がいるのでしょうか。お山には様々な美しさの蝶の舞姿がよく見られます。他にも、蜘蛛のレース編みは日毎に凝ってきまします。葉っぱや枯れ枝を掃除しようと思ったら、キリギリスやナナフシだったり、傘を開いたらムカデが振ってきたり、お寺

での生活は不思議がいっぱい(スリルもいっぱい)。写真は納経所前のモミジです。モノクロなのでわかりにくいですが、銀色の雨の中、若緑の葉っぱに鮮やかなピンクの蝶々がいっぱいいます!これはいわゆるモミジの「種」が風に乗る日を待っている姿です。遠くからは一面に花が咲いたようにも見えました。とても愛らしく、また、摩訶不思議な光景で、これぞ「八事の蝶々だ!」と思いました。今月は「命の不思議に感じ入り、その歌を奏しむ道」を歩いてみましょう。(井上)

寺宝通心

— 第31回 —

乾坤経籍箱— 乾坤は経籍の箱なり—

『遍照發揮性靈集』(真濟編)



真言宗の開祖である弘法大師は多才な人物で、仏教に関する多くの教えを伝え残しただけでなく、新たな技術や芸術をも日本にもたらしました。その「際鮮やかな才」人々を魅了し、弟子たちはその言葉を、行動を、書きとどめ次に伝えたいと奮闘しました。「遍照發揮性靈集」は、承和二年(八三五年)弘法大師御入定からしばらくして集成されたと考えられており、弟子の真済が弘法大師の詩や碑銘、上表文、啓、願文などをまとめ上げたものです。

今回ご紹介する掛軸は「遍照發揮性靈集」におさめられている「乾坤経籍箱 万象一点含」からとった一文を揮毫したものです。大まかに訳すと「天地は経典の入れ物で、一滴の露に全宇宙が含まれている」となりますが、これだけでは分かったような分からないような、もう少し「ま」に読み解いてみましょう。まずは「乾坤経籍の箱なり」から。乾(天)坤(地)とは私たちを取り巻く自然であり、世界であり、宇宙そのもののことを指しています。経籍(経典)は多くの言葉(仏の教え)が記された本で、宇宙はその本を納める箱であると言っています。これを合わせると、「宇宙は仏の教えに満ち満ちている」という意味になります。次に「万象一点に含む」ですが、万象とは世界のありとあらゆるモノやコトの事で、それが一滴のしずくの中に内包されているというのです。あらゆる真理が一滴の中に集約され、一滴はあらゆる真理に広がっていく。一滴のしずくのなんと豊かなことでしょうか。

つまり、私は私たちに向き合ってきたるものであると同時に、私たちの中に在るものでもある。その厳しくもあたたかな存在を感じ、学び、知ること、より豊かな命をつなぐことができる。物質面では豊かな今を、空虚でなく、心豊かに生きる一つのヒントがここにあるのではないのでしょうか。

弘法大師が残してくださったこの一文、今一度向き合ってみてほしいと思います。

(川村)

お茶がおしえてくれた しあわせ

竹翠だより

「茶の湯のころ」



若緑が深緑に変わり、いよいよ梅雨の季節になりました。雨の日はお客さまの数も少なめです。軒の深い瓦屋根の建物の中で静かな雨音を聞き、雨に濡れる樹木や竹林を見る時、いつになく自然の恵みを感じられ、普段とは別の竹翠亭を楽しんで頂きます。

竹翠亭は近頃外国のお客さまをお迎えする機会が増えています。お客さまは、築百年余の伝統的な日本建築の様々な特徴を見るところより竹翠亭で味わう雰囲気を楽しんで下さるようです。木、和紙、草から生まれる温もりは異国の人も包み込み、ほっとさせてしまう力があるのでしょうか。お抹茶とお菓子への反応は様々ですが、中にはお抹茶の味が大変気に入って購入を希望される方、また祖國から迎えた親類や友人を必ず連れて来られる日本在住の方もいらっしゃいます。

個人のお客さまの他に、時々留学生のグループや企業研修で日本を訪れた社会人の方が、茶会形式の茶の湯体験をされます。一回の茶会で奥深い茶の湯の世界を体感することなく説明する

ことは大変難しいのですが、私たちは誠意を尽くし取り組んでいます。

全く違う異文化の方々に茶室や茶会はどう映るのでしょうか。こちらにも興味深々です。まずは茶会での挨拶の仕方、お抹茶、お菓子の頂き方をお伝えします。そしてお点前を見て頂きながら、席のしつらえ、お道具の説明などを行ううちに「お先に頂きます」「お先にどうぞ」と笑顔が行き交い和気溢れる茶会の時が流れます。相手を思いやり、敬う心が伝わる瞬間です。

言葉の壁はあるものの、茶会が大切な賓主(お客様と承主)の心の通い合い、準備や日ごろの稽古の事など、できるだけ沢山お伝えしています。遠くの国から日本に来られ、この竹翠亭で体験されたことが一つの思い出になり、将来何かに生まれ変わる事があるとしたら・・・そんな願いを持ちながら茶の湯体験をしていただき、私たちも茶の湯の素晴らしさを改めて認識しています。

(竹翠)

興正寺月釜

夏の風情を楽しむお茶席です。当日受付もあります。

日時 7月14日(土)

10時~15時

※受付は14時まで

場所 竹翠亭・耕雲亭

※入口は本堂横

懸釜 表千家谷口宗久

※興正寺担当の席もあります

茶券 薄茶席二席 千五百円



マルシェ茶席

僧侶のお点前でお茶をいただけるお茶席です。美しいお点前の後に、ほっと笑顔がこぼれる時間をお過ごしいただけます。

日時 7月21日(土)

11時~14時(随時)

場所 茶室 竹翠亭

※普門園拝観券(五百円)で参加可



こよみよみ

七月 文月
七つにちなんだ「文月」
稲穂ふくらむ(稲穂月)

七月七日 小暑
梅雨が明け、蝉が鳴きはじめる。暑さが本格的にな
つてくる頃。暑中見舞いを出す時期でもある。

七月二十三日 大暑
一年でもっとも暑さが厳しく感じられる頃。各地
で夏の風物詩である花火大会や祭りが催される。

7月

八事今昔物語り ～そこにお寺のある暮らし～ 11

この文庫が出る頃、夏至を迎えます。今年はこの日が申中(こうしん)のえさる(の)日です。十干と十二支の数え方の「甲」と十二支の「申」が重なる日。またまたレトロな暦では、この日から「十方尊」の期間と言い、10日間、まあ大さっぱに言うところ、建設的、前向きな活動はみんな内、と言われます。次の吉日から新しく事を始めるために準備をする期間、と考えましょうか。この際、古くて害のあるものや、間違いは壊して、やっかいな欄から逃れて新たなご縁に備えましょう。さて、「ご縁」と言

えばいわゆる興正寺縁起には「尾張の光友公が、山の上にたなびく紫雲を見て、山中の開山天瑞照和尚と出会った事が興正寺の始まり」とあります。この縁起も単なる昔話ではありません。先日、興正寺の外から西山観音堂の方を見る機会があり、木々の連なりの上に、それは見事な薄紫の雲がたなびく情景を発見しました。よく見るとそれは山麓の花房で、かなりの大木が花を付けていると思われまふ。近くにいくと全く見えません。ましてや、寺内や森の中に入ると藤の木が存在すら

わかりません。お寺にはこういった人のために咲いてくれない藤や桜の木々が多いのです。もちろん、この藤の花が紫雲そのもので、興正寺縁起が事実だと言いたいものではありません。たつた数日の偶然が起すこの神秘に気付いた誰かが、人智を超えたご縁の不思議さに「仏さま」を見て、尊く感じ入ったのだらうと思ふのです。お寺は、暦の中の習慣や古いお話を通して、大いなる自然の力、つまりは神仏の大いなる力を「ご縁」として気付かせてくれる場所なのです。(井上)

今月の興正寺サン

昭和区在住
中西さんファミリー



ピオトープで遊んでい
た中西さんファミリー。
二年前に広島から転勤
で近所に引っ越してきた
そう。ママと子供たち
は、移動図書館を時々利
用に興正寺を訪れて

いるそうで、この日はお
休みのパパと一緒に散歩
にきていた。
「広島にいた時は、お寺
で遊ぶなんてことはあり
ませんでした。偶然、興
正寺のような広くてキ
レイな場所が近所にあっ
たので、時々こうして子
供たちと遊びに来てい
ます。」と中西さん。お話
ししている間も、子供た
ちは水場にやって来るト
ンボなどに夢中だった。

フランス出身
オリアンさん



日本語を勉強するた
め、名古屋の大学に留学
生として今年来日した
ばかりだというオリアン
さん。この日は街を散策
中、スマホでまたまま
見つけた興正寺にふらっ

と立ち寄ったのだそう。
「日本に来てから、お寺
や神社を見るのは、これ
が初めてなんです。と
ても落ち着いていて、美
しい場所ですね。」とお
話してくれた。
入りたい日本の企業
があるということで、単
身日本に留学してきた
彼女。日本語の勉強も
始めたばかりで、日々何
かと緊張すること多い
はず。時々こうして興正
寺で、日本文化に触れ
ながら、リフレッシュし
てくれたらいいと思う。

僧侶の在り方を見つめ直す反省会

布薩会

集団には必ず目的があります。何か
方向性を同じくするからこそ「集まる
のです。そして、時々みんなが集まって
その方向性を確認することで、集団の
「質」を維持することが出来るのです。

インドには「布薩(ウポサタ)」集会
といった意味」というものがありますが、
本来は半僧侶たちが半月に一度、羊が迷子
になっていないかを確認する頭数数え
だったそうです。この習慣の良さを他の
集団も取り入れて、たとえば職人集団の
在庫管理や指針確認などの機会として
広がりました。いわば「確認し」「ミーテ
ィング」ですね。これが仏教にも取り入れ
られます。仏教における「布薩」は、半月
に一度僧侶たちが集まり、戒律の示された
戒律を共に読み上げ、半月間の自身の
行動に過ちがなかったか、誠心誠意振
返る反省の機会とされました。「布薩」に
定期的に参加することが、釈尊の弟子、
仏教徒としての証しだったのです(南方
の仏教僧侶は現在もこれを守っています)。
本来は新月と満月(これを黒白月とい
います)の日に行うものとされますが、二
年に一度、雨安居(インドの雨季の修行、夏安
居とも)の終わりに行なう大規模なもの
もあります。

興正寺では今年8月4日に一年に一度
の布薩会が行われます。旧暦4月16日から
約90日間行われる夏安居明けに行われる
仏教行事です。古式ゆかしき「布薩会」に
是非ご参加ください。
(興田)



△参加者の人数を数え報告します



△参加者は清水・香湯で手を清めます



△お釈迦さまの前に僧侶が集います

観音堂九万九千日

九万九千日とは
この日にお参りをすれば、功德が
九万九千日分にも広がる」とされる日です。

く
ま
ん
く
せ
ん
に
ち

奉納一本
参千円

九万九千日
のぼり幡

日時／平成30年 8月10日 金
9時～10時（9時30分より法話）
場所／西山観音堂

ご祈願の後、観音堂前に奉納致します

【お詫びと訂正】

下記ページにおきまして、記載漏れがありました。お詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。 訂正： 7/24 地藏縁日／13時／能満堂／大数珠おくり／紙芝居

興正寺行事カレンダー

7月

普門園拝観(竹翠亭利用)時間 10:00～16:00
休園日(休業日)／2日(月)、6日(金)、7日(土)、8日(日)、9日(月)
11日(水)、14日(土)、15日(日)、18日(水)、30日(月)

月	火	水	木	金	土	日
25 仏滅	26 大安	27 赤口	28 先勝	29 友引	30 先負	1 仏滅
2 大安	3 赤口	4 先勝 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 応用 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	5 友引 戌の日 ○大随求明王 縁日 露店アリ 10:00 干支成満巡り ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 大随求明王	6 先負	7 仏滅 小暑 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴木智弘	8 大安 ○大日如来縁日 理趣分経祈禱 12:30 大日堂 大日如来
9 赤口	10 先勝 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦宣秀 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山海良 ★八尋庵定休日 ★永代供養受付定休日	11 友引	12 先負 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田英伸	13 赤口 ○虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 干支成満巡り 10:00 法話会 ○7月盆 合同供養会 虚空蔵菩薩	14 先勝 ☆興正寺月鑑 10:00～15:00 二席 1,500円	15 友引 ○東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり 17:00 精霊送り 阿弥陀如来
16 先負 海の日	17 仏滅 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ★永代供養受付定休日	18 大安 ▽仏典読解講座 10:00 普照殿 樹田 英伸 ○観世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱／法話 観世音菩薩	19 赤口	20 先勝 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦宣秀	21 友引 ☆TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ○弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経／法話 ▽写経写仏講座 11:00 光明殿 ○月並御影供 14:00 西山本堂 ☆マルシェ茶席 11:00 竹翠亭 一席 500円 弘法大師 興正寺マルシェ	22 先負 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴木智弘
23 仏滅 大暑 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	24 大安 ★永代供養受付定休日 地藏菩薩	25 赤口	26 先勝 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田泰澄 ▽遊翠の心 茶の席 10:00 14:00 竹翠亭 要予約	27 友引 ○青葉まつり ▽遊翠の心 きもの装い 応用 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	28 先負 ○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱／法話 不動明王	29 仏滅 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 西山本堂
30 大安 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦宣秀	31 赤口 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山海良 ★永代供養受付定休日	1 先勝	2 友引	3 先負	4 仏滅	5 大安

※阿字観(杉浦宣弘師)／御詠歌上級講座(鈴木隆弘師)／御詠歌初級講座(鈴木智弘師)の開講日程については、担当僧侶に直接お問い合わせください。(電話問い合わせ不可)

青葉まつり

お大師様の誕生日

日時 平成30年7月27日 金 13時より
(12時45分より法話) 場所 西山本堂

平安時代初期に現在の香川県普通寺市で生まれたという
弘法大師(空海)は、幼名を佐伯真魚と言ひ、
青葉光る旧暦六月十五日のご誕生と伝えられます。
青葉まつりでは弘法大師を讃える和讃(和語の歌)の
数々が唱えられ、お釈迦さまにならって
稚児大師のお像に灌仏がおこなわれます。

